



GOVERNOR'S

2022-23年度 国際ロータリー第2650地区ガバナー月信

MONTHLY LETTER

CONTENTS

- P2 ガバナーメッセージ
- P3 地区行事報告
- P6 ロータリーと奉仕活動
- P7 会員数の増減および出席率表
- P8 会員の動き

RI第2650地区 2022-23年度
スローガン 「感動、感激、そして感謝」

第2650地区 2022-23年度ガバナー 尾賀 康裕

November.2022 Vol.5

11

11月

— ロータリー財団月間 —

現在の資本主義社会において、何らかの形で集めた資金を再配分するといった機能を持つ組織には、大まかにいって「企業」「行政」そして「財団」があります。

「企業」は自らが取り扱う商品やサービスを消費者に提供することによって得た資金を、社員報酬や株主配当、内部留保や投資といった形で再配分しています。

「行政」は基本的には住民からの徴税によって集めた資金を、公益目的を果たすため担当地域に様々な形で再配分しています。

「財団」はその意図する目的を達成するために、その目的に賛同した人たちによる寄付行為によって集めた資金を、社会貢献という形で地域に再配分しています。

この三つの組織の中で、日本において最もなじみの薄い組織が「財団」ではないでしょうか。この理由はズバリ、日本にはまだまだ寄付文化が発達していないからです。

日本で寄付文化が発達しないのは、①税制上の優遇が実感しにくい②公共サービスの担い手として政府に対する期待が高い③集団内での支援を好む集団主義的価値観、宗教活動への関心の低さなどが指摘されています。

折しも今月は「ロータリー財団月間」です。なじみの薄い「財団」と「寄付行為」についてあらためて考えてみる月間として捉えてみたいと思います。

奉仕や親睦といったロータリー活動の根本を支えているのがファンドレイジング、つまり寄付行為です。これにはニコニコ箱など自クラブの奉仕活動に使用する目的でおこなう寄付行為や、年次基金や恒久基金、その他基金などとしてロータリー財団に行う寄付行為などがあります。

なかでも、ロータリー財団に対する寄付は、これによって集められた資金をグローバル補助金や地区補助金という形などで我々の地域のために再配分されることを目的とした寄付行為です。

もしロータリー財団という受け皿がなければ、公平な再配分による大きなファンドを使ったインパクトのある奉仕事業は困難になります。そういう意味からしても、ロータリー財団の存在は重要です。とりわけクラブの規模が比較的小さく、自主財源だけではインパクトのある奉仕事業ができなくとも、財団の資金を補助金として利用すれば、地域に大きな影響を及ぼすことのできる奉仕事業が実施可能となります。

どうかロータリー活動で重要なファクターである財団寄付は、自らの意思で地域を良くするための行為であることをご認識いただき、より一層のご支援をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2650地区 2022-23年度ガバナー
尾賀 康裕



RLI Part I

(ロータリーリーダーシップ研究会)

2022年9月11日(日) 京都文教学園 (Zoomとのハイブリッド開催)

9月11日京都文教学園においてRLI開講式、RLIパートIを開催しました。3年ぶりの京都文教学園での開催。リモートと合わせてのハイブリッド形式で行い、会場には40名、リモートでは53名の参加をいただきました。開講式は野口真理子委員長の司会進行で、尾賀康裕ガバナーのジョークを交えたご挨拶のあと、坂本克也パストガバナーからはリモート開催についての諸注意やグラドルールについてのポイントを伝授頂きました。

会場、リモート共に6グループに分かれ、①ロータリーにおけるリーダーシップ②私のロータリー世界③倫理と職業奉仕④財団I 私たちの財団

⑤会員の参加を促す⑥奉仕プロジェクトを創造するという内容で、6セッションのディスカッションを行い、お互いの認識の違いや他クラブでのアイデア等を共有した有意義なものでした。集合会場では名刺交換からの交流で和気藹々とした研修となり、リモート開催では多くの意見が交わされる内容となりました。両者とも、幅広い議論が共有出来たと感じました。次回RLI Part IIは、12月4日文教学園とZoomにて開催します。

RLI委員会 委員 宇田 毅(大津中央RC)



第1回社会奉仕委員長会議

2022年9月24日(土) リーガロイヤルホテル京都

9月24日、第2650地区、第1回社会奉仕委員長会議を皆様方のおかげで開催させていただく事ができました。

今回は対面とZoom両方のハイブリッド会議をリーガロイヤルホテル京都にて開催させていただきました。何分にも慣れない状況でしたので、皆様方にとってはお聞き苦しいところも多々あったのだと思いますが、88クラブ118名(内Zoom参加81名)の方々の参加を賜りました事に感謝を申し上げます。

第一幕は、尾賀康裕ガバナーによる『ロータリーが社会奉仕に思う事』と題し、「近江商人の家訓に見る社会奉仕」という興味深いお話を聞かせていただきました。

主な内容は、「ロータリービジョン声明」(私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。)
「ロータリーの戦略的優先事項」(特に4つの優先事項)

- ① より大きなインパクトをもたらす。
- ② 参加者の基盤を広げる。
- ③ 参加者の積極的なかわりを促す。
- ④ 適応力を高める。

の重要性のお話を拝聴しました。

第二幕は、地区内の各クラブが、2021~22年度に苦勞され、活動をされ成功をおさめられたその事業の中から4つのクラブにその活動事例を発表していただきました。

- ① 平城京ロータリークラブ「災害から地域住民を守ろう!」
- ② 甲賀ロータリークラブ「甲賀ジュニアアカデミー」
- ③ 京都モーニングロータリークラブ
「『はかる』と『わかる』オンライン授業」



④ 丸岡ロータリークラブ

「県内高校、タイ国高校とのオンライン交流支援」

地区委員会は、各クラブが実践され、成功をおさめられた奉仕活動を、地区内のロータリークラブに効果的に発信する事だと思えます。そして各クラブの今後の社会奉仕活動が、今後の活動においてより良い成果を上げていただく為のお手伝いの役割をはたす事が委員会の役目だと考えています。今地域ではどのような活動を望んでいるのかロータリーとしてどのように対応し、有益な奉仕活動を実践して行くのかを考えていきたいと思えます。

今回発表いただきました活動内容の中には、多くの参考になる部分があったように思いますので今後の奉仕活動に役立てていただきたいと思えます。

今回の会議において、58クラブのロータリアンの方々からアンケート調査にご協力をいただきました。この内容につきましては、後日各クラブに報告をさせていただきます。

最後になりましたが、講演をいただきました地区ガバナー尾賀康裕様、発表いただきました、平城京ロータリークラブ、甲賀ロータリークラブ、京都モーニングロータリークラブ、丸岡ロータリークラブ各位にお礼を申し上げますと共に、会議に出席を賜りました各クラブの皆様方に感謝を申し上げます。

社会奉仕委員長

大島 國裕(奈良RC)



第1回青少年奉仕担当者会議

2022年9月10日(土) Zoom

国際ロータリー理事会は、青少年に関する危機管理の決議を次々に決定、変更しています。2018年4月にNPO法人RIJYEC(国際ロータリー日本青少年交換委員会)を改編したRIJYEM(RI日本青少年交換多地区合同機構 RI Japan Youth Exchange Multi District organization)が設立さ



れ、青少年交換プログラムに参加する地区は、法人化、賠償責任保険加入、危機管理委員会設置の3条件を満たすことが条件となりました。国際ロータリー理事会は、青少年交換プログラムにおける虐待およびハラスメント防止のために、各地区に危機管理への対応を義務づけました。危機管理への対応が適切に取られている地区へは証明書を発行し、証明書を貰った地区でなければ、青少年交換プログラムへの参加はできなくなりました。日本は、34地区合同のRIJYEM(ライジェム)で認定を取っています。

そして、青少年交換の危機管理が青少年奉仕プログラム全体へと、波及していき今に至ります。ぜひ、RIJYEMのホームページをご覧ください。

青少年奉仕委員長

中村 廣良(京都洛東RC)

インターアクト夏期研修報告会

2022年9月25日(日) リーガロイヤルホテル京都

去る9月25日に、鹿児島・屋久島にて本年度8月上旬に開催したインターアクト夏期研修の報告会を行いました。尾賀康裕ガバナー、中村廣良青少年奉仕委員長ご出席の下、夏期研修に参加したアクター、顧問、ロータリアンが、再び京都に集合しました。また研修に参加できなかったアクターや顧問、クラブ委員長の方々にもZoomにてご参加を頂きました。

国歌・インターアクトの歌の斉唱、ガバナーのご挨拶の後、研修団長・田村委員長の研修概要報告で報告会が始まりました。参加したアクター・顧問それぞれが、研修後の感想などを発表し、最後に尾賀康裕ガバナーよりご講評を頂きました。今回の報告会は、従来の時期より遅くし、また報告書を同日に配布できた為、報告内容が濃く、聴く人の心が揺さぶられる場面が多々ありました。地区委員会として、研修の成果を噛みしめることが出来、最高の喜びを感じまし



た。報告会後には交流会に移り、参加アクター、顧問、そしてロータリアンが、和やかな雰囲気の中、懇親を深め、再会を約束して散会しました。

本夏期研修報告書、残部が多少ございます。

ご希望の方は、クラブ事務局よりガバナー事務所へお問い合わせください。

インターアクト委員会 委員

宇野 晃成(武生RC)



ローターアクト アクトの日 開催報告

2022年9月11日(日) 各ゾーン

「アクトの日」は、アクトの9月(ク)10日(ト)に近い日曜日に、将来的には全国統一事業を行う事を目標とし、各地区で同じ日、同じ時間に何か事業を実施しようと1984-85年度のローターアクト代表者会議で設定された、日本のローターアクト統一活動日です。

活動の目的は、①ローターアクトの「ク」と「ト」にちなんで、9月10日(に近い日曜日)の9時10分から、全国同時にローターアクト活動を行い、意識の向上と地域社会へのPRを行う。②地域社会のニーズや問題に対し、ローターアクトとして何ができるか考え行動する。とし、今年度はゾーン毎に9月11日(日)に開催いたしました。

福井ゾーン フードドライブプロジェクト

■場 所：ラブリーパートナーエルパ ■時 間：9時10分～15時

■参加者：ロータリアン 6名、ローターアクター 7名(合計13名)

当日は40名の方にお越しいただき、合計130キロもの食糧を集めることができました。

事前準備としてFBCテレビの夕方ワイドショーに出演しPRを実施したり、食糧をご提供頂いた方からは「ローターアクトの活動とはどのようなものですか?」とご質問いただいたり、地元の新聞にも取り上げられるなど、ローターアクトの知名度を向上させる良い機会となりました。



滋賀ゾーン かまどベンチを知って、いざという時に備えよう!

■場 所：彦根各所公園 ■時 間：9時10分～12時

■参加者：ローターアクター 5名

彦根工業高校にて作成されたかまどベンチの認知度を向上させるためのかまどベンチロゴシールの貼り付けを行いました。この後、継続して周知ができるようにかまどベンチロゴシールおよび使い方シールを贈呈予定です。

京都北ゾーン 献血

■場 所：SUPER CENTER PLANT-3 福知山店 ■時 間：9時10分～16時

■参加者：ロータリアン 4名、ローターアクター13名、献血参加者(受付数)57名(68名)

献血の呼び掛けを行いました。猛暑の中でとても大変な一日でしたが、過去、同じ会場で行われた献血の参加者の平均よりも多くの方に献血をして頂きました。この経験を通して、綾部RACでは社会奉仕活動として献血を今後も実施することを考えているので、より多くの方に献血をして頂けるように頑張っていきます。



京都南A・Bゾーン 鴨川清掃

■場 所：鴨川(七条～出町柳間) ■時 間：9時10分～10時40分

■参加者：ロータリアン 9名、ローターアクター27名(合計36名)

河川美化と環境保全の輪の広がりを目指して活動するボランティア団体「鴨川を美しくする会」のご協力の下、七条大橋から出町柳間の鴨川沿いを清掃しました。鴨川沿いは一見ゴミが少ないように見えますが、実際には多くのゴミが集まりました。

奈良ゾーン 清掃活動

■場 所：近鉄奈良駅を基軸に市内主要道路沿い4コース ■時 間：9時10分～12時

■参加者：ロータリアン 11名、ローターアクター10名、インターアクター 23名(合計44名)

ロータリアン、インターアクター、ローターアクターが4つのグループに分かれ、清掃活動を行うクロスプロモーションで交流するいい機会になりました。

他校のインターアクターやローターアクターと一緒に活動出来てよかったという感想をインターアクターからもらいました。駅周辺や大きな幹線道路沿いで、想定よりも多くゴミが散見され、回収をしながら参加者のゴミ問題に対する意識が変わる良い機会となりました。



私のロータリー感

滋賀第3グループ ガバナー補佐 木村 泰造(彦根南RC)



毎週開催される例会が当たり前のようには続いてきましたが、この2年位前からコロナ禍の影響で休会が続きました。今まで経験のないこの事態は、あらためて例会がロータリークラブにとって大事なものであったか再認識することになりました。

30年前ロータリーに入会させていただき、当時、私どものクラブは創設以来17年間連続100%が続いており、当時はこれが厳粛で不可侵な事であり、例会前日に新幹線でどこへ行ったとか、それはもう緊張感があり、当時は一週間の中に絶えず例会が存在しているようでした。結局24年目で切れましたが、とたんに緊張感が無くなった事を覚えています。

ロータリーにはさまざまな年齢の人が、さまざまな職業の人がひとつに集まる、他の団体にない独特の雰囲気があります。例会で、またメイクアップで多くの魅力ある方との出会いは大いに刺激を受け、勉強させられましたし、楽しみでもありました。このロータリーの出会いと親睦は、究極大げさに言えば自分自身の成長を高める言わば道場の場と思っています。そしてロータリアンとして自分の生業を通じて社会に

貢献し奉仕する。まさにロータリーは出会いの場であり、修練の場でもあり、その事自体を大いに楽しみ、そしてエンジョイできます。

体調をととのえるではないですが、精神的な気持ちを「ととのえる」ような場が例会であると私は考えています。

最近ではコロナ禍で例会が開催されない時が多いようですが、今後は徐々に機会が増えていくでしょう。ロータリーの魅力の原点は、例会にあるのではと思っています。

一週間に一度集まって来る仲間と更に有意義な時間を持つために、例会運営を更に考える事も大事なことでないでしょうか。

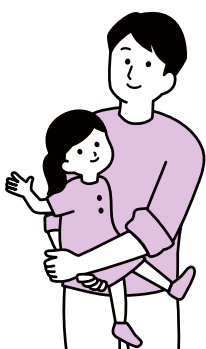


感動・感激・感謝

福井第1グループ ガバナー補佐 貴志 英生(福井東RC)



まだ30代でクラブに入会して間もない、社会的には医療関係者との繋がりがしかなかった頃のことです。子供の保護者会で、ある教育プログラムを任せられ苦慮していました。その時、ロータリーの先輩に相談したところ、何から何までセッティングしていただきました。その先輩の一言に感動したのです。「僕も先輩からいろいろ無理を聞いてもらっているから次の世代に繋ぐんだ。」そんな内容だったと思います。



また、地区でポリオワクチンの海外医療奉仕事業を行っていた時のことです。私は小学3年生の娘を連れての初めての参加でした。その時の大先輩が、私だけでなく子供に対しても大変な配慮をしてくださりました。感激をし、以降この奉仕事業のとりこになりました。娘もこの体験が心地よい経験になったのでしょうか、海外へ留学するなどの体験をすることとなりました。

周りの人々が幸せを感じられるようなプレゼントをすることが、自分の幸福感に繋がると教えてくださった先輩方について行くべく、次世代の会員に可能な限り奉仕をしたいと思っています。それが先輩方への感謝の気持ちです。

はちまん stagram



近江八幡の風景 /spot 紹介



教林坊(きょうりんぼう)は、605年に聖徳太子によって創建されました。

「教林」とは、林に囲まれた地で教を説かれたことに由来しており、境内には「太子の説法岩」と呼ばれる大きな岩とご本尊を祀る霊窟が残されています。

紅葉が美しくなる11月から12月上旬までは、境内の約300本を超える紅葉の大木を150基のライトが幽玄に照らし出します。

江戸時代前期の茅葺き書院は貴重な指定文化財であり、また書院西面の名勝庭園は小堀遠州作と伝えられています。書院南面にも室町時代と考えられる枯庭があり、紅葉の時期は厳かながらも紅葉が映える絶好のシャッターポイントです。

ご詠歌に「九十九折れ たずねいるらん 石の寺 ふたたび詣らな 法の仏に」と詠われるとおり、どんな困難な願い事も二度詣れば叶うという「再度詣りの観音さま」として信仰される「教林坊」で年末までのお願いを一緒にさせていただきます。

- 所在地：近江八幡市安土町
- アクセス：JR琵琶湖線「安土」下車 車 10分/名神竜王インターより国道8号線経由約20分
- みどころ：4、5、6、10月の新緑、11月、12月の紅葉

国際ロータリー第2650地区 2022年8月 会員の動き

8月 入会者一覧

| クラブ名 | 氏名 | 職業分類 |
|------|-------|-----------|
| 京都 | 野村 明義 | 神道 |
| 京都 | 柳瀬 忠弘 | 都市銀行 |
| 京都北 | 横井 有二 | 和菓子製造 |
| 京都西 | 藤川 忠明 | 生命保険 |
| 京都西 | 杉原 洋 | 飲食業 |
| 京都西南 | 武田 信裕 | 弁護士 |
| 福井東 | 岩佐 武彦 | 民宿・旅館業 |
| 武生 | 小泉 義廣 | 生コンクリート販売 |
| 武生 | 山口 和弘 | 電気事業 |

| クラブ名 | 氏名 | 職業分類 |
|------|-------|----------|
| 敦賀 | 沼田 晋一 | 原子力安全研究 |
| 東近江 | 片山 久雄 | 事務機器販売 |
| 東近江 | 山田 竜一 | 総合保険 |
| 甲賀 | 平井 陽介 | 日本料理 |
| 甲賀 | 北村 智之 | 飲食 |
| 長浜北 | 木村忠一郎 | レンタル業 |
| 大津東 | 土屋 俊輔 | ビジネスサービス |
| 大津西 | 今井 重典 | 仏壇仏具販売 |
| 大津西 | 惣司 哲史 | 保険 |

8月 退会者一覧

| クラブ名 | 氏名 |
|------|-------|
| 京都 | 武田 昭英 |
| 京都西南 | 笹川 明彦 |
| 彦根南 | 棚橋 博司 |

ご逝去会員一覧

| クラブ名 | 氏名 |
|------|-------|
| 京都洛東 | 西村 栄蔵 |
| 宇治鳳凰 | 太田 利三 |

(順不同・敬称略)

「感動、感激、そして感謝」の地区大会

ホストクラブでは、地区大会の準備を進めております。
毎月新たな情報を公開してまいりますので、
右記QRコードにてご覧ください。

地区大会で
お会いしましょう



告知動画を配信！
(毎月更新中)
ぜひご覧ください。



Kyoto
Fukui
Nara
Shiga

国際ロータリー第2650地区

2022-23年度 ガバナー 尾賀 康裕

■ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2022-23@rid2650.jp